

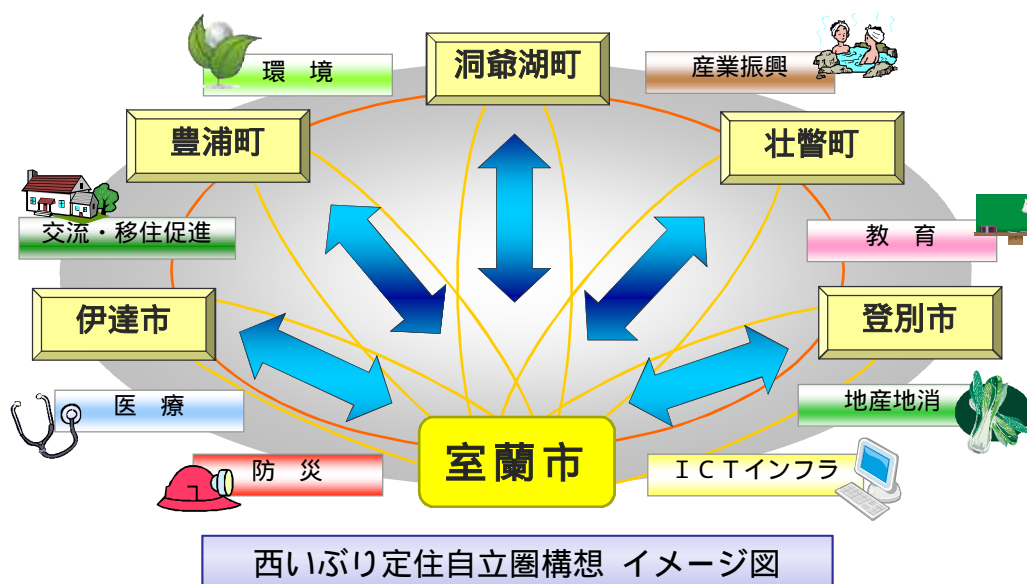
西いぶり定住自立圏構想の推進

(共通・新規)

現 状

西いぶり圏域では、国が進める地域連携の新たな手法である、定住自立圏構想を推進しており、昨年12月には中心市宣言を行なった。

現在、西胆振6市町にて、室蘭市の都市機能と周辺市町の地域資源を有効に活用した取組みを検討しており、22年度中の協定締結と共生ビジョンの作成を予定している。



課 題

事業の最大の特徴の一つである、民間事業者との連携や事業に対しては、新政権での事業見直しによる「定住自立圏等民間投資促進交付金」の減額があり、当初予定していた民間事業に支障がでるなど、今後の推進について危惧しているところである。

また、圏域の生活機能の確保において不可欠である、医療分野等での連携推進においては、特別交付税による財政措置に加え、更なる支援が必要である。

要 望 内 容

引き続き、定住自立圏を推進するとともに、特別交付税に加えて民間事業者の事業も対象とした一括交付金の創設など、更なる財政支援措置を講じていただくよう要望する。

事 業 効 果

少子高齢化などによる人口減少に対応し、安心して住み続けることができる地域づくりと、圏域の経済的自立につながるものである。